

# グループホームに暮らす視聴覚重複障害者の 生活実態と支援者が抱えている課題

山口 果林

本研究は、グループホームに暮らす視聴覚重複障害者の生活実態(コミュニケーション方法や移動等)を把握・分析し、視聴覚重複障害者が地域生活における自立した生活を営むことが可能にするためには何が必要なのかを提起していくことが目的とした。グループホームに暮らす視聴覚重複障害者の生活実態について明らかにした論文はなく、視聴覚重複障害者が地域で自立生活を営むことを可能にする力について論究したものはない。このことから、本論文によって、視聴覚重複障害者の地域生活において『自立』するためについて提起をしていくことは独自性を有している。

研究方法として、インタビューを用いた。調査の対象はグループホームに暮らす視聴覚重複障害がある男女 5 名の当事者と支援者男女 5 名にインタビューを依頼し、半構造化個別インタビューの調査を行った。当事者と支援者にそれぞれに 1 人あたり 1 時間前後のインタビューを行った。分析方法は、レコーダーによる録音内容で聞き取ったあとには、調査者の発言や質問と関係ない発言を除外したあとに逐語録を作成し KJ 法により分析を行った。

その結果、当事者には、「①グループホームに暮らす以前と暮らした後について」、「②コミュニケーション方法」、「③生活で工夫していること」、「④将来的の展望と課題」に対する 4 つのカテゴリーが抽出された。「①グループホームに暮らす以前と暮らした後について」の語りでは、グループホームに暮らす前は一人暮らしをしていた者もいたが、家族と同居していた人が圧倒的に多いことが明らかになった。「②コミュニケーション方法」の語りでは、音声・手話・触手話・接近手話という様々なコミュニケーション手段をしていることが明らかになった。「③生活で工夫していること」の語りでは、グループホーム内ではエレベーターがあり、乗り降りの際や廊下で歩いているときにぶつかることが多いため、ぶつかっても痛くないように自分の身を守るための手法についての研修を受けたりするという語りがあった。「④将来的の展望と課題」の語りでは、「全国的に視聴覚重複障害者を特化したグループホームが増えてほしい」「グループホーム内では車椅子の使用が認められていないためそれに対する問題を考えていけないといけない」という語りがあった。

支援者では「①以前はどのような仕事をしていたのかまたは現在はどのような業務をしているのかについて」、「②視聴覚重複障害者とコミュニケーション手段について」、「③支援をしていて難しさについて」、「④今後の展望や課題」に対する4つのカテゴリーを抽出された。

「①以前はどのような仕事をしていたのかまたは現在はどのような業務をしているのかについて」の語りでは、福祉系以外の仕事をしていた職員が多いことが明らかになった。「②視聴覚重複障害者とのコミュニケーション手段について」の語りでは、声・触手話・指文字といった様々な方法を行い、一人ひとりにあったコミュニケーションを取っていることが明らかになった。「③支援をしていて難しさについて」の語りでは、『発達障害がある方との関わりが難しい。知的障害がある人には、わかりやすく説明をすればほとんどわかってくれる方が多いが、発達障害がある人は根気よく、かつ、より一層の支援が必要や知的障害等の重複している人との関わりが難しい。』という語りがあった。最後に、「④今後の展望や課題」の語りでは、制度に関することや視聴覚重複障害者がパソコンやスマートフォンが使えるようになればもっと情報が触れることができる機会が増え、視聴覚重複障害者の世界が広がるのではないかという語りがあった。

本研究の問いについては、「視聴覚重複障害者の地域生活における自立した生活を営むことが可能にするためには何が必要なのかを提起していくこと」だったが、調査をしていくうちに、i)「グループホームに暮らし、地域で『自立』した生活を行うことができるのか」、ii)「高齢化社会の中で、高齢視聴覚重複障害者に対する今後の必要とされる支援は何が必要なのか」を2つの問いに分けて考察を進めた。i)「グループホームに暮らし、地域で『自立』した生活ができるのか」といった問いでは、当事者が視覚と聴覚が重複しているために24時間体制の介護の必要性が高くなる可能性が高いため、障害の程度・本人の生活に対する能力・人的資源が充実した環境整備が必要である。次に、ii)「高齢化社会の中で、高齢視聴覚重複障害者に対する今後の必要とされる支援は何が必要なのか」に対する問いでは、高齢視聴覚重複障害者に対する支援では通訳だけではなく身体が衰えてくることもあるため、介護技術も必要とされる場面が増える。そのため、通訳だけではなく介護の担い手を増やすために支援をする側にも研修を受ける機会を増やしていく必要がある。